

2023年3月期 第1四半期 決算説明資料 (2022年8月5日)

WDBココ株式会社 (証券コード 7079)



ディスクレイマー

- 本資料の作成に当たり、当社は当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としていますが、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。
- また、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として、その達成を約束するものではありません。
- 当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化や顧客のニーズ及びユーザーの嗜好の変化、他社との競争、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。
- また、本資料発表以降、新しい情報や将来の出来事等があった場合において、当社は本資料に含まれる将来に関するいかなる情報についても、更新又は改訂を行う義務を負うものではありません。

WDBココ株式会社 経営企画グループ



www.wdbcoco.com/ir/



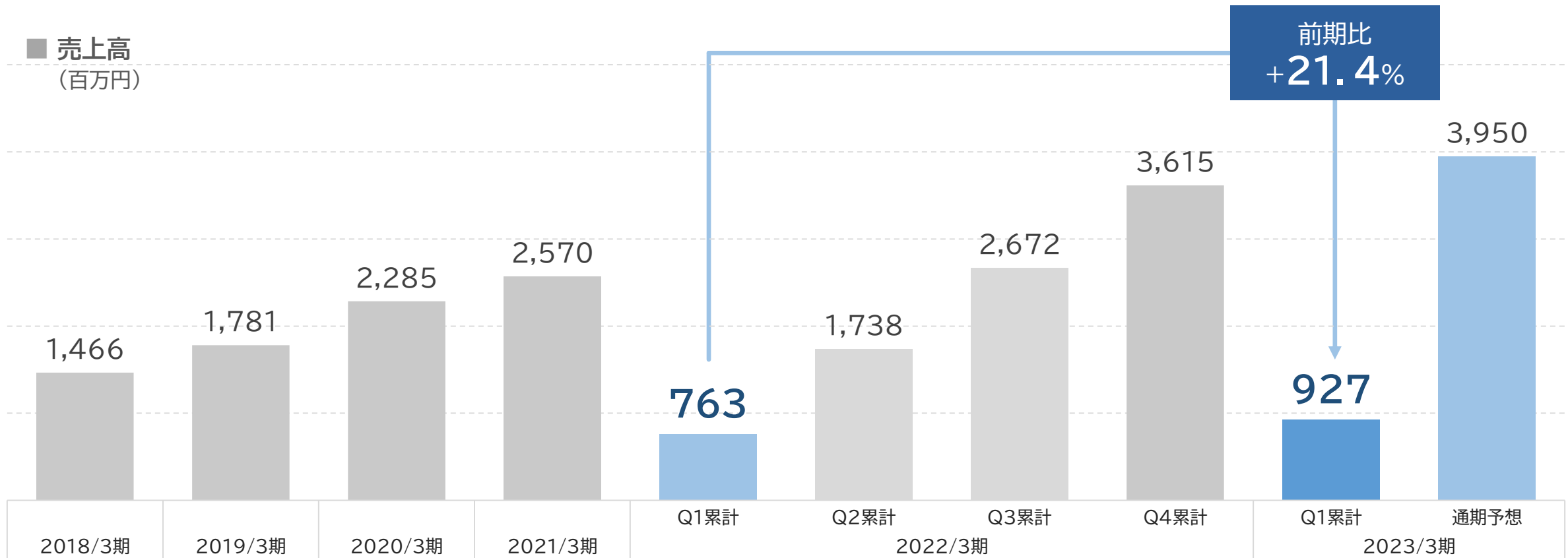
ir-info@wdbcoco.co.jp

会社概要(2022年3月末現在)

社名	WDBココ株式会社
設立年月	1984年8月
資本金	2億7594万円
上場市場	東京証券取引所 グロース市場 (2022年4月にマザーズ市場より移行)
代表者	代表取締役社長 谷口晴彦
本社所在地	東京都中央区晴海1-8-11 トリトンスクエアY 27F
事業内容	安全性情報管理を主軸とした医薬品・医療機器の開発支援
従業員数	494名
拠点	本社、関西オフィス、オペレーションセンター(東京、神戸、沖縄)
売上高	3,615百万円 (2022/3期)
経常利益	963百万円 (2022/3期)

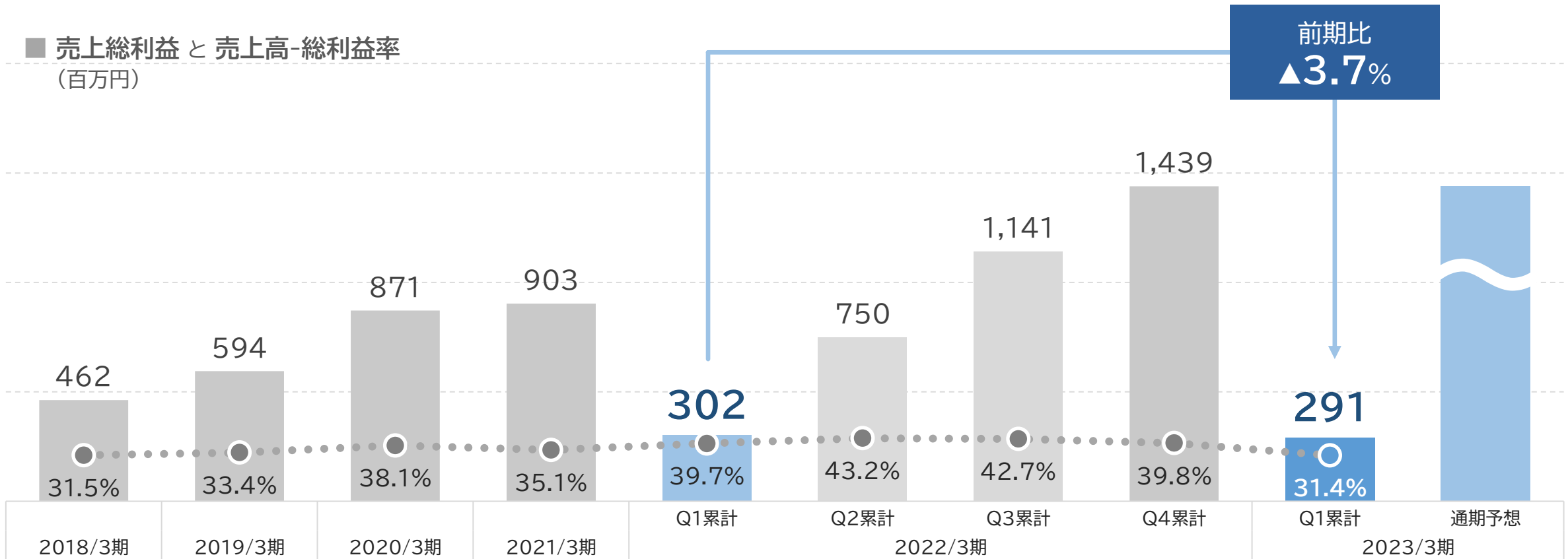
決算の総括

売上高の推移



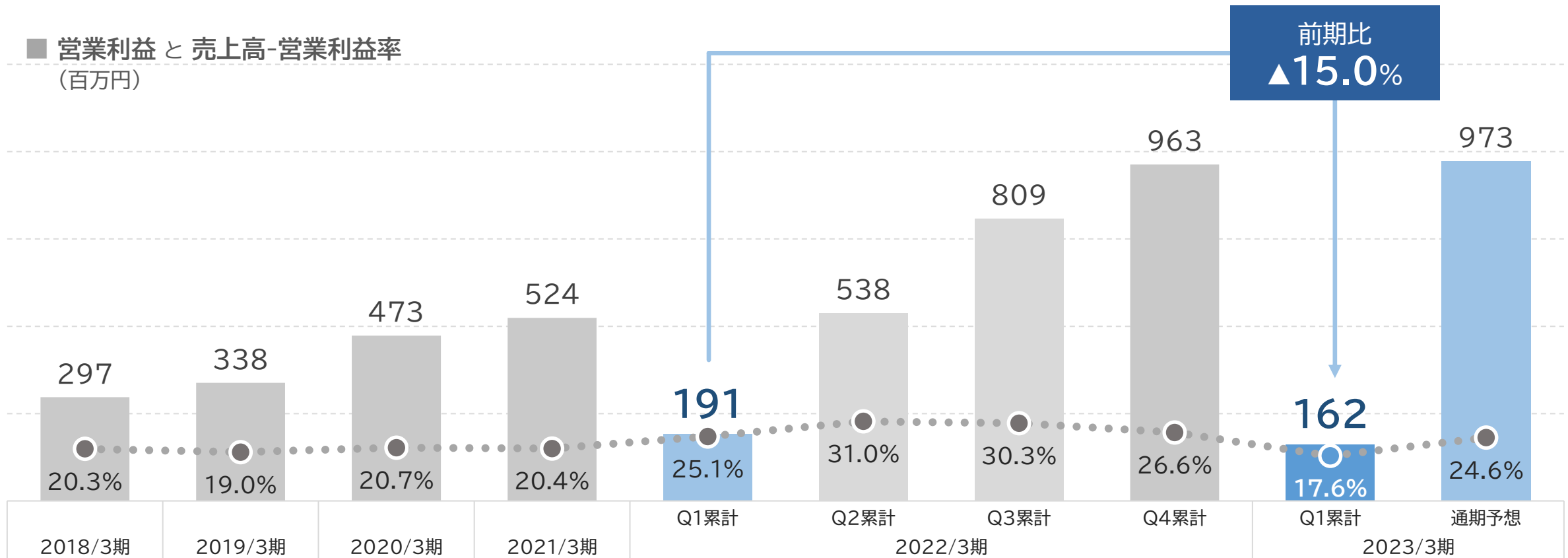
- 売上高は**927百万円** (前年同期比21.4%増)、163百万円の増加
- 既存案件の売上が堅調に推移
- 前年Q2以降に**複数の新規顧客からの受託案件、**
既存顧客からの追加受託案件が稼働し、売上に寄与

売上総利益の推移



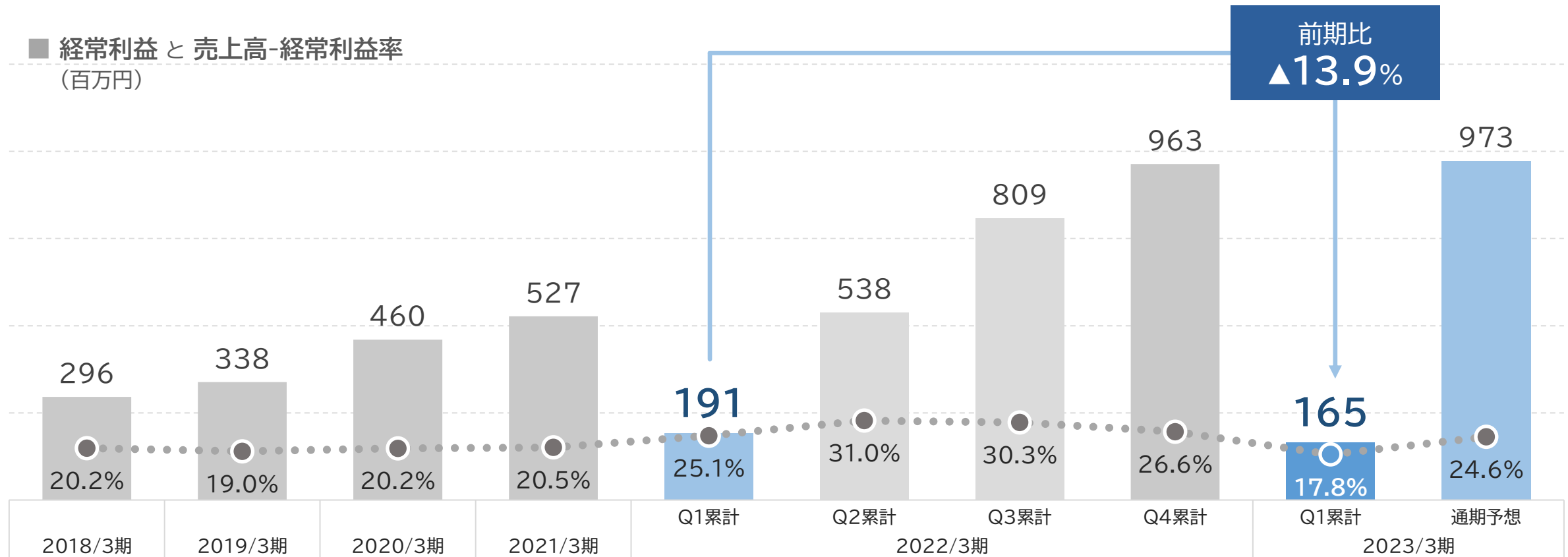
- 売上総利益は**291百万円** (前年同期比3.7%減)、11百万円の減少
- 売上高163百万円の増加に対して、売上原価が174百万円の増加
- 案件稼働に伴う増員、開始予定の大型案件のための人員の計画的な確保と育成、所定労働時間短縮や研修拡充といった、長期的にサービスを維持・向上するための施策を戦略的に実施 (計130百万円の増加)

営業利益の推移



- 営業利益は**162百万円** (前年同期比15.0%減)、28百万円の減少
- 売上総利益11百万円の減少に対して、販売費及び一般管理費が17百万円の増加
- **システム開発、教育研修部門の増強**が主な要因 (22百万円増加)

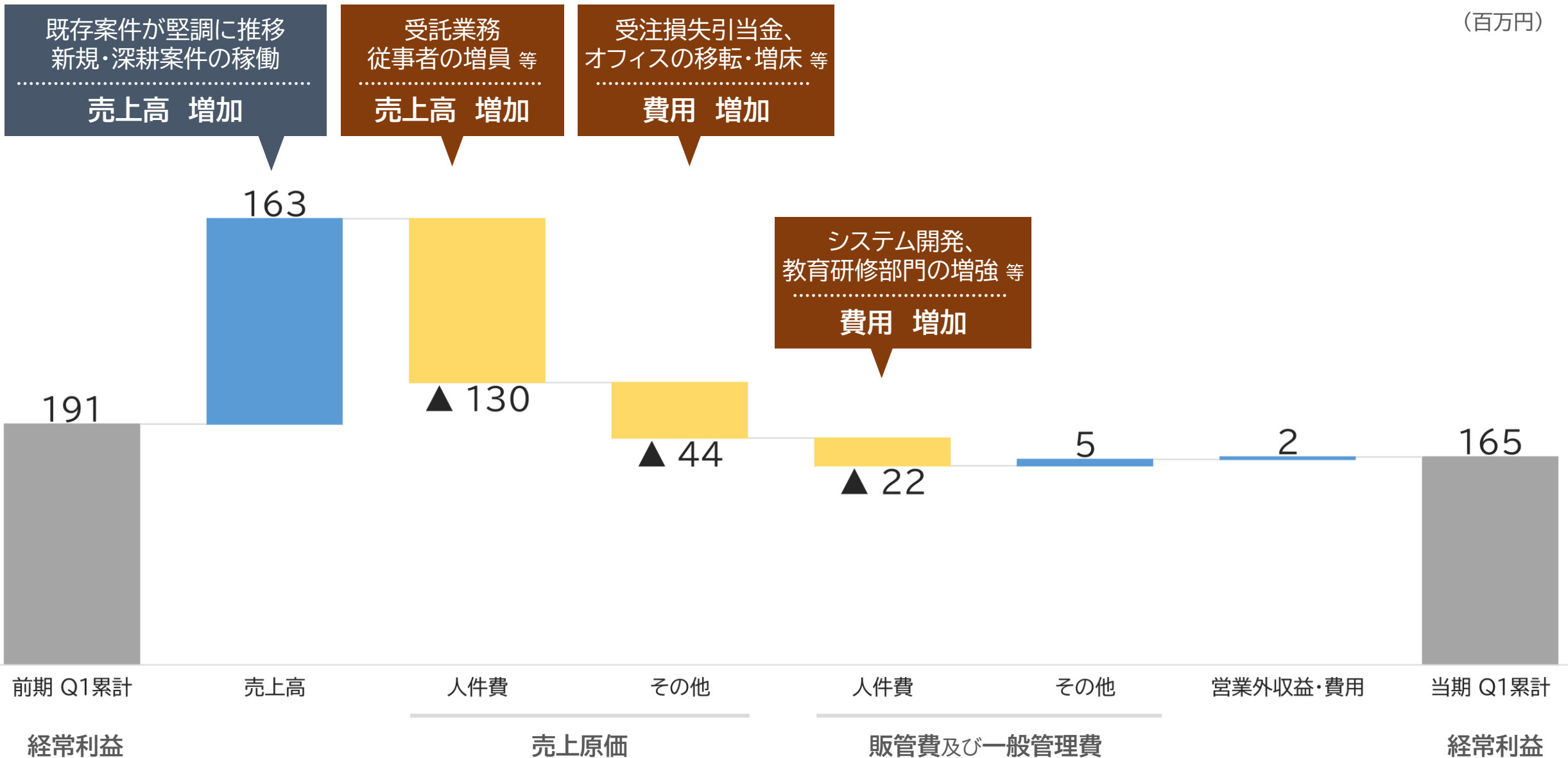
経常利益の推移



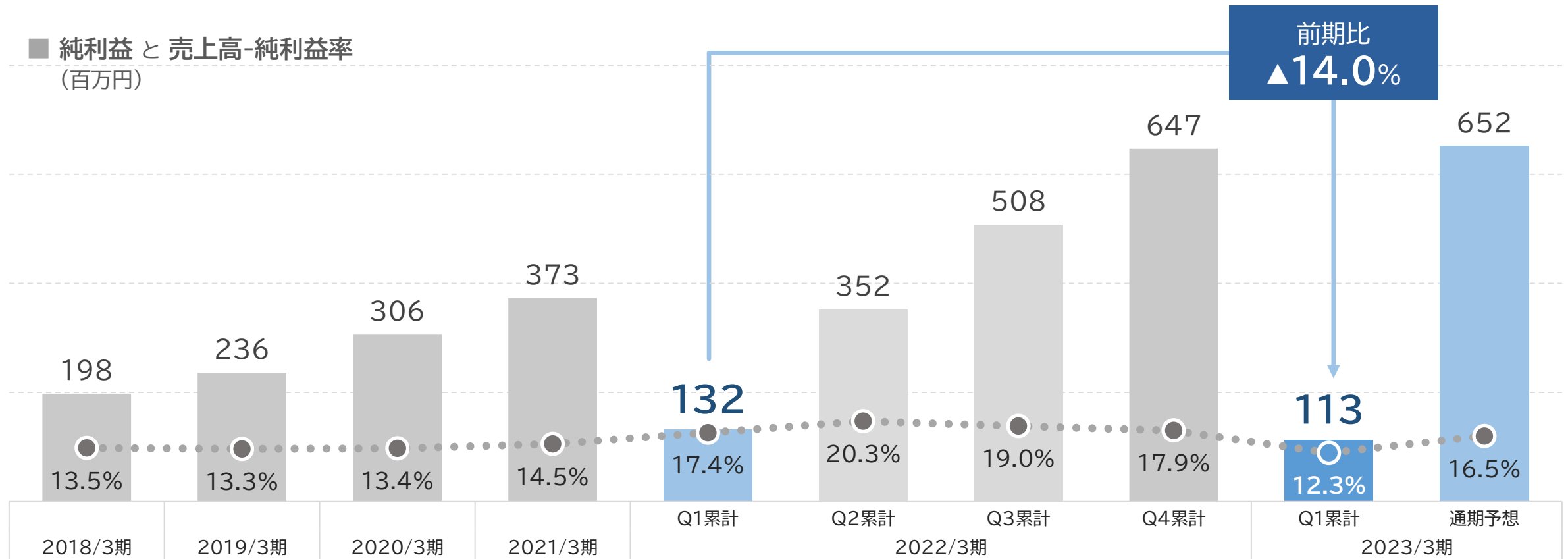
- 経常利益は**165百万円**(前年同期比13.9%減)、26百万円の減少

経常利益（補足）

(百万円)







純利益の推移



- 純利益は**113百万円**(前年同期比14.0%減)、18百万円の減少

2023年3月期 通期見通し

(百万円)

	2023年3月期 予想			
	金額	構成比	対前年 増減	1Q時点 進捗率
売上高	3,950	100.0 %	+9.3 %	 23%
営業利益	973	24.6 %	+1.0 %	 17%
経常利益	973	24.6 %	+1.0 %	 17%
当期純利益	652	16.5 %	+0.7 %	 17%

成長戦略

詳細は2022年6月29日付けの
「事業計画及び成長可能性に関する事項」をご覧ください

医薬品開発を受託するCROとして
最適業務プロセスの提案・実施を通じ
製薬企業の各部署の課題解決に貢献する

- 「安全性情報管理業務」に特化
- 高品質と低価格を継続的に両立

一般的なCRO

プロジェクト型 サービス

.....
医薬品開発について
ワンストップサービスで様々な業務を受託している

WDBCOCO

プロセス型 サービス

.....
医薬品開発について
安全性情報管理業務を主軸に業務を受託している

「安全性情報管理業務」をCRO業務の中の1つとして位置づけている他社と違い、
当社は「安全性情報管理業務」のサービスに完全に特化

➡ 安全性情報管理業務は、長期継続的に対応が必要な法規制業務であるため、
製薬企業からは高い品質とコスト削減のニーズが高い。
当社はこの要求に対し、高品質と低価格の継続的両立に注力している

強みを実現するノウハウ

業務分解・標準化の
ノウハウ

- 業務を分解し、標準化
- 業務の難易度に応じて分業化、自動化
- 品質と生産性の最適化を実現

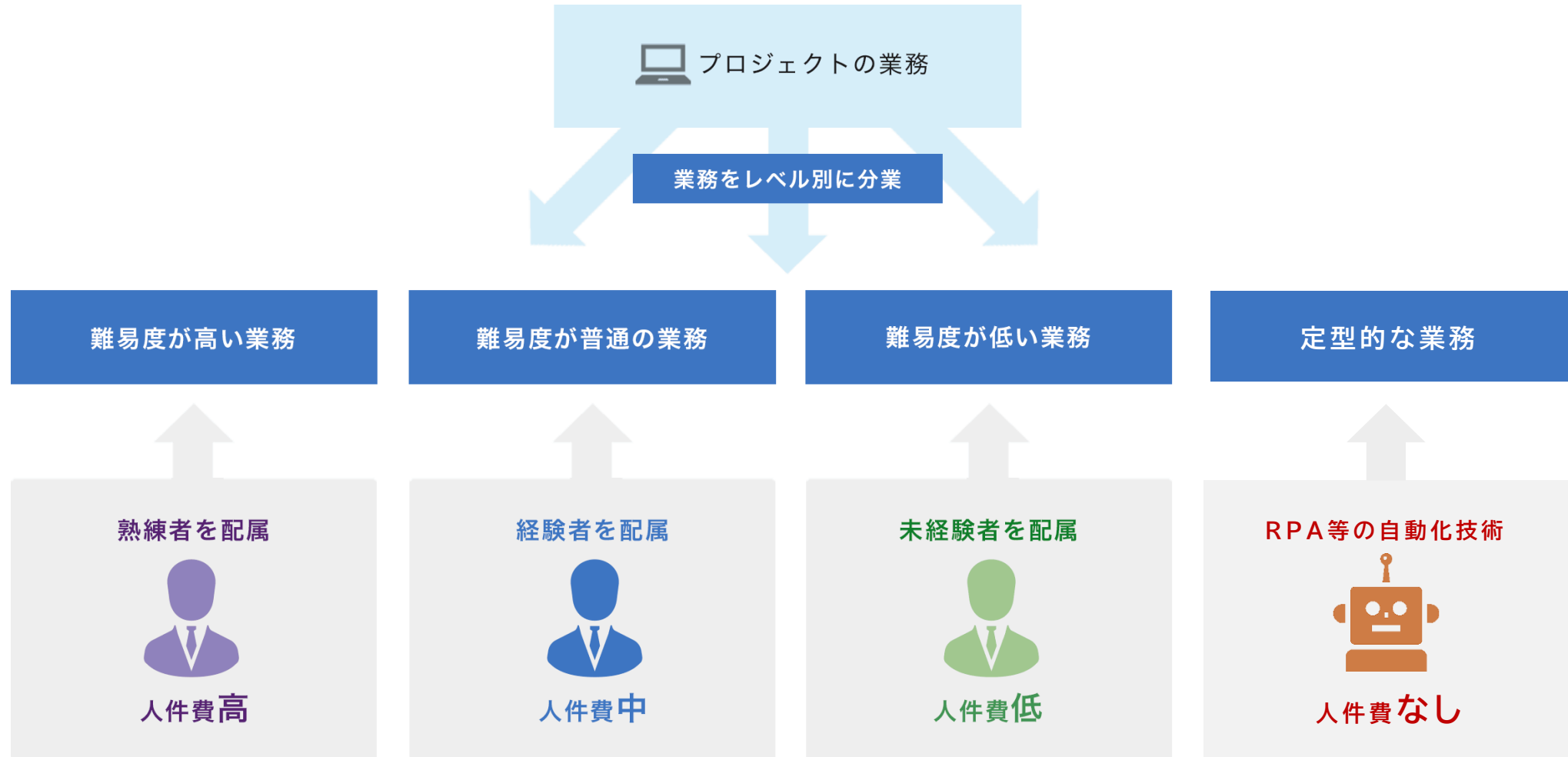
人材配置の
ノウハウ

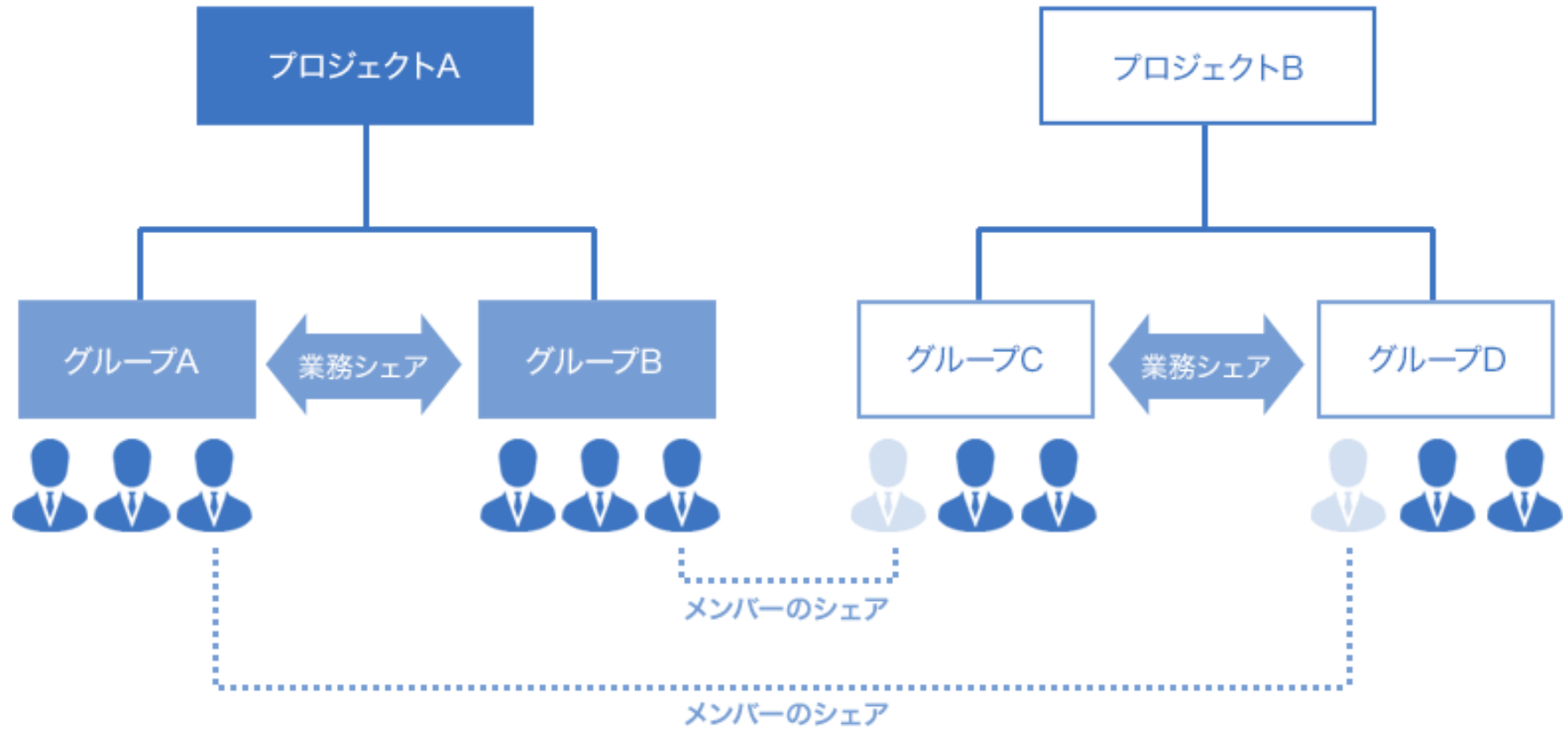
- 適材適所
(適時に、機動的に、適材を、適所に配置)

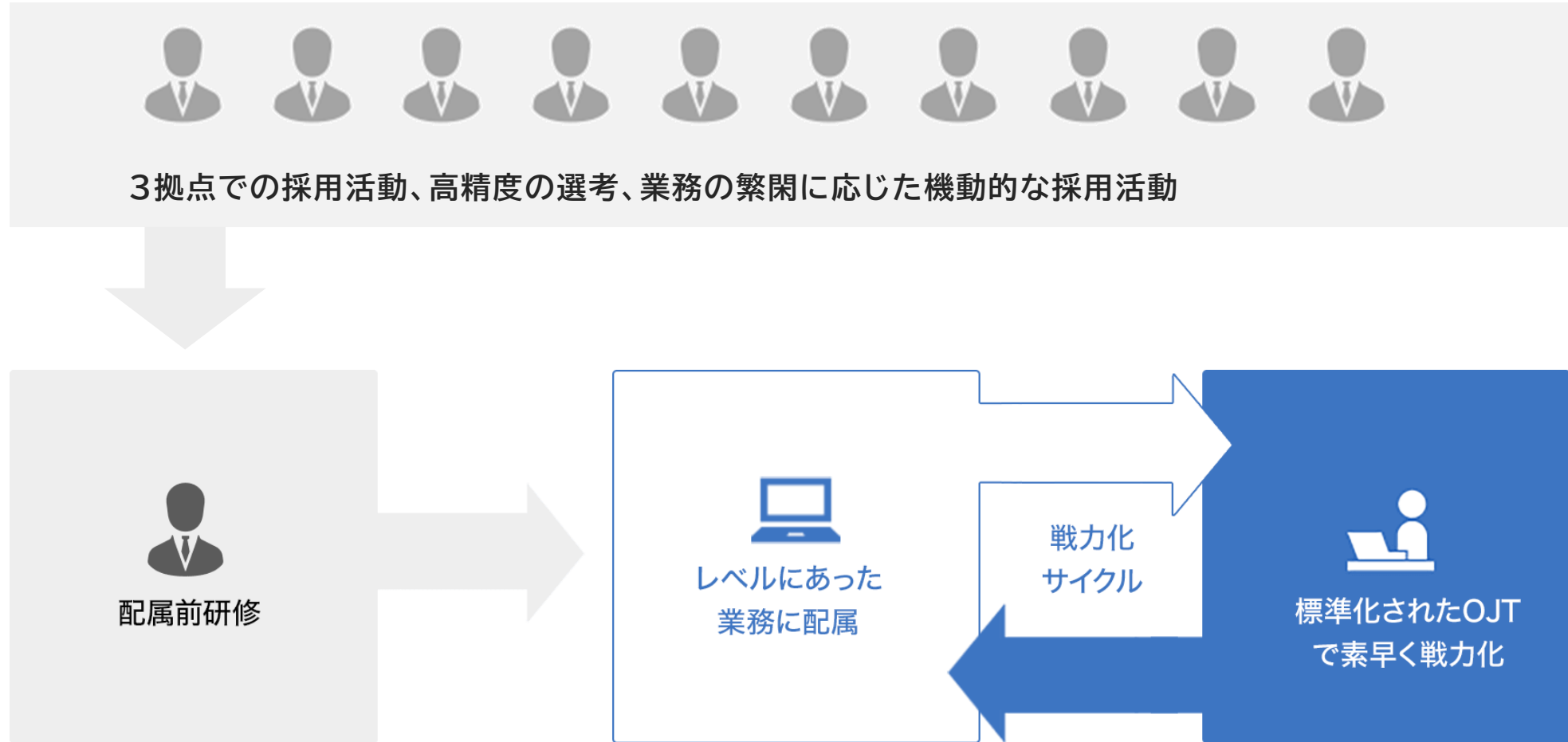
人材採用の
ノウハウ

- 高い継続性
- 独自の研修ノウハウによるスキルの向上
- 社員教育の徹底による業務改善姿勢の浸透

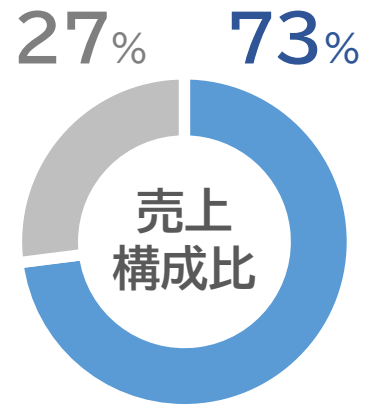
高品質と低価格の継続的な両立







売上高と構成のイメージ



2022/3期

当社のノウハウを活かすことができる
製薬企業で発生する業務

安全性情報管理業務